

お茶の水地理学会活動報告（2017年度）

2017年度のお茶の水地理学会の活動は、下記の通りです。

1. 4月25日（火） 会報『harmonie』71号発行、発送
2. 5月11日（水） 代表幹事会 参加者7名
3. 6月3日（土） 学年幹事会 参加者12名
総会 参加者21名
講演会 参加者45名
懇親会 参加者36名

*講演会

講師：倉光 ミナ子会員（45回生）

「日本におけるサモア人妻たちの子育て」

2003年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了後、同研究科助手、天理大学国際学部専任講師・准教授を経て、現在、お茶の水女子大学文教育学部グローバル文化学環助教。

講演要旨を本誌に掲載。

*卒論優秀賞

小野坂 知子会員（65回生）「和歌からみたコンテンツ・ツーリズムの枠組み－歌枕の類型表現と旅の形成過程に注目して－」発表

*キャンパス報告

寺垣 沙織会員（地理学コース4年生）「地理×女子とゼンリンコラボ企画について～クリアファイル他グッズ作成の経緯」

4. 7月5日（水） 代表幹事会 参加者6名
5. 8月22日（水） 代表幹事会 参加者6名
6. エクスカーション

9月16日（土） 生田

キーワードは「“1941年”開戦の年、登戸研究所が最大規模に達した年、久地円筒分水が完成した年」

案内者：田宮 兵衛氏（元本学教授）

参加者：30名（当学会23名、明日香7名）

9月17日（日） 表参道

キーワードは「水」と「オリンピック」

「川の跡、オリンピックの賑わいを感じながら歴史を辿る旅へ！」

案内者：飯田 佑美子会員、多賀 麻里子会員、土屋友貴美会員（地理学コース3年生）

参加者：28名（当学会19名、明日香9名）

※明日香とは、奈良女子大学地理学科卒業生同窓会です。

7. 10月12日（木） 学会誌『お茶の水地理』56号発行
8. 10月25日（水） ニューズレター発行、発送
9. 11月9日（水） 代表幹事会 参加者7名
10. 12月2日（土） 学年幹事会 参加者9名
講演会 参加者69名
懇親会 参加者20名

*講演会

講師：磯前 睦子会員（26回生）

「信州遠山郷－秘境の昨日今日明日－」

1955年東京生まれ。1974年桜蔭学園高校卒。1978年お茶の水女子大学地理学科卒業後、島根県にて中高教諭。2006年～2016年愛知県立農業大学校研究科非常勤講師など。名古屋市在住。著書に『聞き書き木曾の山バカ物語 林業家柴原秀満の歩いてきた道』（2011、冬花社）、『木曾に聴く 木曾を聴く』（2016、冬花社）など。寄稿『月刊ねこ新聞』（猫新聞社）、『中日新聞』など多数。『朝日歌壇』入選多数。

講演はお茶の水学術事業会との共催。会員のほかに、学生、桜蔭会会員、および大学webページ、「文京区区報」、「月刊地理」（古今書院）などの広報による参加者が集まった。講演要旨ならびに関連論文を本誌に掲載。

（お茶の水地理学会事務局 東野 真紀）